

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月31日

上場会社名 株式会社シャルレ

（コード番号：9885 大証第2部）

（URL <http://www.charle.co.jp/>）

代表者 役職 代表取締役社長 氏名 林 宏子

問合せ先責任者 役職 経理グループマネージャー 氏名 内海 哲也 （TEL：(078)302-8840）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度：無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（1）売上高

	売上高	前年同期比
	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	17,113	-
平成15年3月期第1四半期	-	-
(参考)平成15年3月期	39,181	-

（注1）当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。

（注2）平成15年3月期の売上高は、平成15年2月末日（子会社中間決算日）を連結子会社のみなし取得日としているため、当社単独の売上高と同額です。

平成15年1月30日に総合ギフト卸売業の㈱シンワの株式を取得し、子会社としております。

[売上高に関する補足説明]

事業の種類別 セグメントの名称	平成16年3月期第1四半期	
	金額	構成比
	百万円	%
下着等卸売事業	10,182	59.5
ギフト卸売事業	6,361	37.2
その他の事業	569	3.3
合計	17,113	100.0

（注）下着等卸売事業における品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

品目	平成16年3月期第1四半期		（参考）平成15年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
ファンデーション	2,329	22.9	10,861	27.7
レッグニット	939	9.2	4,820	12.3
肌着・ショーツ	2,564	25.2	11,434	29.2
ランジェリー	160	1.6	589	1.5
ナイト・Tシャツ・水着	2,372	23.3	6,626	16.9
チャイルド	114	1.1	409	1.1
タオル	596	5.9	2,046	5.2
ギフト	63	0.6	443	1.1
化粧品	794	7.8	893	2.3
その他	245	2.4	1,055	2.7
合計	10,182	100.0	39,181	100.0

当第1四半期における日本経済は、金融不安による株式市場の冷え込みとイラク戦争および新型肺炎SARSの影響により、民間設備投資や個人消費は依然低迷を続けるなど、大変厳しい状況が続きました。6月に入り、やや明るさが見えてきたものの、景気回復までには至っておりません。

このような事業環境のもと、当社の企業グループも消費不振の影響を受け、厳しい状況が続いております。

まず当社の下着等卸売事業につきましては、新商品の投入や4月から11月までのビジネスメンバー（販売員である代理店・特約店）向けのレインボーコンテストなどを実施し、売上の向上を図りましたが、全般的な下着需要の低迷を受け、当初計画に対して約10億50百万円下回り、売上高は101億82百万円に留まりました。なお、4月から本格発売しましたスキンケア商品（化粧品ブランド「エタリテ」）につきましては、計画以上の好調な滑り出しとなっております。

次に、連結子会社の㈱シンワによるギフト卸売事業につきましては、個人消費の低迷と厳しい企業間競争の中にあって、同社の長所であるきめ細やかな顧客サービスの徹底を図ることで、ほぼ当初の計画どおり、売上高は63億61百万円となりました。

また、その他の事業の売上高は5億69百万円となり、当社の企業グループ全体の売上高は171億13百万円となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3．平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	34,000	1,190	410	20 51
通期	68,300	2,400	970	48 53

〔業績予想に関する定性的情報等〕

今後の日本経済は、株価上昇やアメリカ経済の回復期待の高まりにより、明るさの兆しは見えているものの、本格的な景気回復には程遠く、個人消費の本格的な回復は当分望めない状況が続くと思われま

す。このため、不透明な経済環境のもと、全般的な下着需要の低迷は続くと思われ、当社単独の予想売上高は、平成15年5月23日の前回予想410億円から393億円に見直すことといたしました。

なお、連結子会社によるギフト卸売事業等につきましては、ほぼ前回予想通りに推移していくものと思われま

す。この結果、連結の予想売上高は、平成15年5月23日の前回予想700億円から683億円に修正することといたしました。

また、これに伴い、予想経常利益と予想当期純利益も修正いたしました。

4．参考：平成16年3月期の単体業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	19,500	1,190	460	23 01
通期	39,300	2,400	1,070	53 53

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社企業グループ（当社および連結子会社）で作成したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上